

浜松市議会議員



田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053-447-3820
夜 053-440-7100

創ろう！元気な浜松

平成 19 年 11 月

松山市に学ぶ

【環境経済委員会 視察報告】

地球にやさしい日本一のまちづくり

10 月 2～4 日、浜松市議会環境経済委員会では、「観光産業」「中山間地活性化」「環境政策」などを目的に視察に行きました。視察先で学んだ主な内容をご報告します。

＜訪問先と調査内容＞

- 2 日（火）倉敷市「観光振興の取り組み」
- 3 日（水）高知市「中山間地の活性化、民間による街づくり“ひろめ市場”」
- 4 日（木）松山市「観光産業活性化、環境保全の取り組み、農林水産業振興策」

○松山市「環境保全の取り組み」

松山市の特徴的な取り組みのひとつが「地球にやさしい日本一のまちづくり」。ゴミの減量化を進めるとともに、地球温暖化対策を進めるための「地域推進計画」を策定し、行政・事業者・市民が一体となった地球環境保全の取り組みを進めています。

その特徴のひとつが「新エネルギー」導入の推進。03 年度に「新エネルギービジョン」を策定し、13 年度までの 10 カ年計画で、太陽光や風力、バイオマスなどの自然エネルギーの利用促進にむけ、公共部門での導入や、交通部門や事業所、家庭への拡大を進めることとしています。

たとえば「太陽光発電システム」導入について、2000～06 年度までに、1831 件、8 億 828 万円を助成しています。ちなみに浜松市でも 2000 年度から同様の制度を導入していますが、利用実績は 06 年度までに 756 件、9149 万円にとどまっています（05 年度までは旧浜松市、06 年度は新浜松市の合計）。ヒトケタ違いますが、これが“市の方針”による結果の違いです。

今後は、市民みんなが地球温暖化防止にむけて取り組むことがこれからは大切になってきます。

次に「地球温暖化防止地域推進計画」について、松山市では 06 年度に「省エネルギービジョン」を策定し、家庭での省エネ、事業所での省エネ、公共交通機関の利用促進などをととし、2016 年度のエネルギー消費目標を、03 年度から 8.7%削減することとしています。

取り組みへの参加者を増やすために、わかりやすい資料を用意するとともに、幅広く「節電・節水キャンペーン」を実施しているほか、親子を対象にしたエコイベントや、学生ワーキンググループによる「エコ川柳（右の作品）」なども実施しています。



浜松市も、07 年度に「環境基本計画」を策定し、08 年度に向けて「地球温暖化防止地域推進計画」の策定を進める予定です。

計画を「絵に描いた餅」にしないためにも、市民の多くが参加できるようなわかりやすい仕組みづくりが必要です。

行政の視点だけでなく、市民の目線で、具体的に何をやればよいのか、をしっかりと示すことが大切です。その上で、今回学んだ松山の事例は大変参考になると思いました。

○倉敷市「観光振興の取り組み」

倉敷市は、“なまこ壁”の街並み、民間の美術館、明治時代の紡績工場を利用したホテルなどがある「美観地区」と呼ばれる地域を中心とした市街地と、瀬戸大橋などの観光資源を活かした観光都市です。しかし観光客は、ピーク時の約1000万人から、現在は650万人程度に減少しており、04年度に「観光振興アクションプラン」を策定し、新たな取り組みをスタートしました。

05～06年度には、国土交通省の「観光ルネサンス事業」の認可を受け、「①観光イベント開催」と「②多言語情報発信」による誘客促進、そして「③受け入れ体制整備」を行いました。

今回、私が関心を持ったのは次の2点です。

まず1点目。昨今、日本の多くの観光地で、政府が行っている「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の影響もあり、韓国や中国など東アジアからの旅行者が増えています。倉敷市の特徴としては、外国人旅行者の中でも、欧米系の旅行者が多いことが挙げられることです。

視察ではこの理由について明確にはわかりませんでしたが、倉敷市は英語、中国語、韓国語のHPを用意しており、こうした効果もあらためて検証する必要があると思います。

浜松市でも、9月に英語版HPを立ちあげましたが、コンベンションビューローの英語版HPを含めてもまだまだ観光情報は整っていません。海外への情報発信力についても検討すべき余地があると感じました。

2点目に、倉敷市が観光の目玉として“民芸”を挙げていることについて考えてみたいと思います。

06年11月には、大原美術館や倉敷民芸館などとタイアップし“アジア民芸21フェスティバル”を開催し、“民芸”を通じたアジア地域との国際交流を図っています。

企画立案は市が中心ということでしたが、市ではこの企画が「市民意識の向上」につながったと評価しています。

浜松市では2009年9～11月に「浜松モザイカルチャー世界博2009」を開催します。国際観光都市として飛躍できるかどうかは、市民との協働を推進することにあるのではないかと思います。市民参加の情報発信が必要です

○松山市「観光産業活性化」

倉敷市の“民芸”に対し、松山市は“文芸”による観光活性化を進めています。

“文芸”の中心は司馬遼太郎の「坂の上の雲」。松山市では「物語のある観光日本一」をめざし、これまでの「道後温泉と松山城」という観光資源に加え、「坂の上の雲ミュージアム」などを新たに建設しています。加えて、夏目漱石の「坊ちゃん」や、俳人正岡子規もうまく取り上げています。

また、市街地に13カ所の「情報発信端末（まつやまインフォメーション→右写真）」を設置し、旅行者が、散策コースや施設、イベント情報を入手できるようになっています。この設備については、コストや利用状況を松山市に問い合わせしており、さらに検証したいと思っています。

市民クラブ 平成20年度予算に関する申し入れ

市民クラブは、10月9日(火)に、鈴木康友市長に、来年度予算に関する申し入れを行いました。



要望項目は10点。具体的な内容はすべて書けませんが、行財政改革をしっかりとって、社会情勢の変化に対応した施策を求める内容です(項目は下記をご覧ください)。

市長からは「全体的には、方向性に全く齟齬はないので、行財政改革の推進役として取り組んで欲しい」「各論については個々に意見をいただきたい」とのコメントをいただきました。

- ①浜松市の特性に合致した政令指定都市の仕組みづくりについて
- ②スピード感ある行財政改革の推進について
- ③第一次浜松市総合計画の推進について
- ④ものづくりのまち浜松の再構築と雇用労働政策の充実について
- ⑤子育て支援政策の充実について
- ⑥学校教育問題への取り組みについて
- ⑦高齢者福祉政策のありかたについて
- ⑧自然と人が共生する環境政策について
- ⑨生活に身近な交通施策の推進と総合的な交通ネットワークの構築について
- ⑩東海地震等大規模災害への備えと安全・安心なまちづくりについて

○平成 18 年度 決算審査特別委員会 傍聴記

厚さ 10cm 以上もの膨大な資料を 3 日間で審議する…。これが浜松市議会「決算審査特別委員会」の任務です。委員は会派人数に応じた各会派からの代表と常任委員会の委員長。傍聴も新人を中心に、多くの議員が出席していました。

予算審議は「常任委員会」で行うのですが、決算は特別委員会を設置するのが慣例のようです。しかし、多くの項目を限られた時間の中で行うため、どうしても総花的な議論になりがちで、追及質問もあまり深くはできない様子でしたし、中には予定していた質問をできない委員もいるようでした。

会派の先輩議員は「決算も各常任委員会で、部局ごとにみっちり審査したほうが良い」と話していましたが、私もこのままで良いのかな…と思いました。ちなみに静岡県議会では、特別委員会は設置していますが、部局ごとの審査を 12 日間かけて行っているようで、彼我の差を感じてしまいました。

さて、内容についてはあまりにも膨大な量なので、すべてを記すことはできませんが、やはり「民生費」の大きさが目につきました。

「老人福祉費」42 億円、「身体障害者福祉費」40 億円、「児童福祉総務費」31 億円、「保育所費」100 億円、「児童手当費」52 億円、「児童扶養手当」18 億円…、**一般会計決算総額 2449 億 9 千万円**のうち、575 億円 (23.5%) が「民生費」と呼ばれる、いわゆる福祉政策のためのお金です。「民生費」は前年度が 546 億円でしたので、29 億円の増ということです。

特別会計の歳出 (支出)を見ても、「国民健康保険事業」は 655 億円、「老人保健医療事業」は 572 億円、「介護保険事業」は 382 億円となっており、この 3 つの特別会計を合わせると 1609 億円で前年度比 +16 億円となっています。

福祉政策を充実させるためにも、**不断の行財政改革**が必要です。

今後の議論に注目“第二次行革審”

8 月 29 日からスタートした“第二次行革審”。

今回は市組織の中にワーキンググループも設置され、昨年までとは取り組み意識も変わってきています。

現在、「補助金」「外郭団体」「市政経営全般」の 3 つの分科会で議論が進んでいますが、今後、12 月に「来年度予算に対する提言」、3 月に「中間答申」が出される予定です。

さて、議員の役割も「市政のチェック」。今のところボリュームに圧倒されていますが、私も、民間の視点、生活者の視点で、一歩ずつ施策のチェックを進めていきます！

第 3 回行革審のご案内

19 年 11 月 10 日(土)18 時～21 時

静岡文化芸術大学 1 階講堂

誰でも傍聴できます。みなさんもお話を聞いてみませんか？

【コラム】浜松市の決算を「家計簿」に例えると…（浜松市 HP より）

平成 18 年度普通会計決算を家計簿に例えてみました。

収入は、給料や親からの支援だけでは賄いきれないため、ローンにも頼っている状況が分かります。今後を考えると給与の増額はあまり期待できません。また、親からの支援にも頼ってばかりいられません。となると、外食を少なくしたり、電気スイッチをこまめに切ったりして、限られた給料を大切にしないといけません。また、家計簿をしっかりとつけて、使いみちを計画的に考えていく必要があります。

収入

浜松市普通会計		決算額	家計に例えた場合	年額
1	市税などの自主財源	1,568 億円	給料など	563 万円
2	国・県支出金など	758 億円	親などからの支援	272 万円
3	市債などの借入金	230 億円	ローンでまかなっている額	83 万円
収 入 計		2,556 億円	収 入 計	918 万円

支出

浜松市普通会計		決算額	家計に例えた場合	年額
1	人件費	515 億円	食費	185 万円
2	公債費	363 億円	ローンの返済	130 万円
3	扶助費	296 億円	家族の医療費など	106 万円
4	投資的経費・維持補修費	565 億円	自宅の増改築・修繕費	203 万円
5	補助費・投資及び出資金・貸付金	229 億円	友人への援助費	82 万円
6	積立金	24 億円	貯金	9 万円
7	物件費など	306 億円	光熱水費	110 万円
8	繰出金	156 億円	生計を別にする家族への仕送り	56 万円
支 出 計		2,454 億円	支 出 計	881 万円

※市税などの自主財源を年間所得 563 万円（厚生労働省 平成 18 年国民生活基盤調査より一世帯当たりの年間平均所得を参考）として試算

【最近のブログから】 10/22(月)「1年ぶりの富山」

昨日～今日、1年3カ月ぶりに富山に行きました。

業務の関係で、2年前の10月から昨年の7月まで、毎月のように富山を訪れましたが、富山の海の幸ってホントに最高ですよ。

特にこれからのシーズンがおすすめです。

ま、それはともかく・・・、富山に関して2題記載します。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今日は富山の「LRT」に乗ってきました。「LRT」とは、「Light Rail Transit」のこと。都市の新交通システムと呼ばれています。写真は富山市の「富山ライトレール」。愛称「ポートラム」という「LRT」です。JR富山駅から北に向けて運行されています。

ここはJR富山港線の廃線論議の中、昨年4月に第3セクターを設立し、既存の線路を活かしつつ、富山駅付近の一部路面に軌道を敷設したものです。乗り心地は音も静かで揺れも少なく、なかなか快適でした。路線周辺では、まおこしも始まっており、市民の期待は大きいようでした。

ちなみに富山には駅南側にも路面電車が走っていますし、富山地鉄という民間鉄道会社もあります（これにも乗ってきました）。



次に訪れたのは、高岡市の「アイトラム」。ここは以前、民間企業が路面電車を営業していたのですが、経営状況から廃線を検討し、周辺自治体の支援の中、5年前に第3セクターとして再スタートを切ったということです。

富山と違い、こちらは全線路面軌道。そして車両も「アイトラム」の他、従来からの「チンチン電車」も使用しています。

富山は駅などの施設もしっかり整備されていましたが、こちらは、せっかく低床車両を導入していても、駅施設の整備が進んでおらず、財政面の大変さをうかがわせていました。

さて先月末、浜松市に「地域公共交通活性化推進議員連盟」が設立されました。私はこの「議連」に参加していません・・・

・・・この続きはブログをご覧ください

田口のブログ《創ろう！元気な浜松》

http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2007/10/post_3da0.html

【編集後記】

10月は議会閉会中でしたが、決算審査特別委員会の傍聴や、決算に関する勉強などで、頭の中は相変わらず“パンパン”でした。カクった頭を軟らかくするためにも「読書の秋」をめざしましたが、10月中に読んだ本は7冊にとどまりました。これまでビジネス書を読むことが多かったのですが、これからはいろんなジャンルの本にチャレンジしようと思っています。

11月は以前から関心を持っていた、福島県の矢祭町に独りで視察に行く予定です。“合併しない町宣言”から始まった数々の行財政改革の具体的事例と、町民の“自立心”を肌で感じてこようと思っています。また20日からは11月定例会が始まります。今回、市民クラブからは、樋詰やすのり議員が代表質問に立ちます。民間出身の先輩議員の鋭い切り込みを期待しています。（章）

10月の主な活動

- 02(火) 環境経済委員会視察
～04(木) (倉敷市・高知市・松山市)
- 06(土) 入野地区自治会長会議
- 07(日) 入子連 球技大会
オールスズキ ハゼつり大会
- 08(月) 行革審傍聴
- 09(火) 子育てサークル運動会訪問
市民クラブ市長申し入れ
活動報告 (スズキ高塚支部)
- 10(水) 活動報告 (彦尾老人クラブ)
- 11(木) 都市計画審議会
- 13(土) 活動報告 (スズキ販売労組)
- 14(日) 浜松労協まつり
- 15(月) 活動報告 (ヤマハマリン労組)
- 18(木) 新人議員研修会
- 19(金) 地域活性化特別委員会傍聴
自動車総連 35周年記念式典
- 20(土) 活動報告 (浜名湖電装労組)
- 21(日) スズキ部品富山労組大会
- 22(月) 富山・高岡市内視察
- 23(火) 決算審査特別委員会傍聴
- 24(水) 決算審査特別委員会傍聴
- 25(木) 決算審査特別委員会傍聴
- 26(金) 西区協議会傍聴
活動報告 (小楠金属・熱処理労組)
- 27(土) 活動報告 (スズキ精密工業労組)
活動報告 (遠州精工労組)
- 28(日) 活動報告 (平岡ボデー労組)
活動報告 (スズキ輸送梱包労組)
活動報告 (スズキ部品浜松労組)
活動報告 (浜松パイプ労組)
活動報告 (スニツク労組)
- 29(月) 浜松西地域協議会傍聴

11月の主な予定

- 01(木) 浜松の教育を語る会
- 03(土) 入野老人クラブ連合会体育祭
ベルソニカ労組大会
- 04(日) 入野地区町民体育祭
西区ふれあい広場
- 06(火) 外部研修会
- 08(木) 環境経済委員会
- 10(土) エステック労組大会
ナイスハートふれあいのスポーツ広場
浜名部品工業労組研修会
行革審傍聴
- 11(日) 入野地区社協福祉まつり
スズキ労連政策制度研修会
- 12(月) 浜松日産労組大会
スズキ販労浜松支部大会
- 13(火) 全員協議会
- 14(水) 視察 (福島県矢祭町)
- 15(木) 教職員組合西区協議会
- 16(金) 連合浜松地協大会
- 17(土) 本田技研労組 OB 会
- 20(火) 本会議
- 25(日) 浜松西政経フォーラム研修会
- 27(火) アスモ労組活動報告会
- 30(金) 全員協議会・本会議